



農林水産部 農地整備課
技術管理班
技師 越後屋 光輝

経歴：採用7年目

- R 2年 農林水産部 農地整備課
技術管理班
- H30年 秋田地域振興局 農林部
八郎潟基幹施設管理事務所
- H29年 被災地派遣
福島県 相双農林事務所
農村整備部 農村整備第二課
- H28年 仙北地域振興局 農林部
農村整備課 生産基盤第三班
- H26年 入庁
仙北地域振興局 農林部
農村整備課 生産基盤第一班

ある日のスケジュール

- 7:50 出勤
- 8:30 朝礼、メールチェック
- 9:00 東北農政局からの歩掛調査の
依頼内容を確認
※歩掛とは、ひとつの作業(土の掘
削など)に掛かる手間を労務人数や
機械運転時間等で数値化したもの
- 10:00 地域振興局への歩掛調査の
依頼文書を作成
- 11:30 地域振興局からの積算
システムに係る問合せ対応
- 12:00 昼食
- 13:00 積算システムのオンライン
説明会
- 16:30 説明会の復命書作成
- 17:15 回覧物チェック、書類整理
- 18:00 退庁
- 18:30 帰宅、ランニング

わたしの職場はこんなところですよ

農地整備課では、私たちの食生活に欠かすことのできないお米や野菜を作るための農地や農業用水の整備・保全を行う「農業農村整備事業」に関する仕事を行っています。5班26名で構成されており、各種企画や調整・広報などを担当する「調整・企画班」、県内各地で実施されている農地や水路、ため池などを整備・保全する各事業の予算及び事業調整を担当する「農地整備班」と「水利整備・防災班」、用地取得・補償や土地改良団体への指導を担当する「土地改良指導班」、設計・積算などの技術的な分野の管理を担当する「技術管理班」があります。同じ職種の職員が多いことからチームワークが良く、とても働きやすい職場です。また、若手職員が多く、分からないことがあっても気軽に聞くことができ、コミュニケーションが取りやすい環境となっています。

わたしは今、こんな仕事をしています

「技術管理班」に所属し、振興局で農業農村整備事業を実施している職員が事業を円滑に進めることができるよう技術面のサポートをしています。具体的には、工事や委託業務を発注するときに必要な予定価格を算出する積算システムの管理、設計要領・積算基準の管理や改正作業、農業農村工学職員を対象とした技術研修の企画調整や講師、設計における各種問合せ対応などです。

秋田県のここが好き！

やっぱり、飲みきれないほどたくさんのおいしい日本酒があるところです。県内各地に酒蔵があり、季節に合わせた限定酒、個性的な仕込み方をした日本酒、パッケージのデザイン性が高いものなど様々な日本酒が数多くあり、毎回何を飲もうか悩んでしまいます。

農業農村工学職のやりがい(楽しさ)はここ！

農業農村整備事業では、農家や土地改良区などが所有・管理している農地や水路、ため池などを整備し、事業が完了するとそれらを引き渡しますが、各地区の地域性や現場環境により、整備するものは一様ではありません。そのため、地元説明会などで関係者と何回も話し合いを重ね、公共事業としての一定のルールの下で、その地区に合ったものを地元の要望や希望に沿えるように計画、設計、施工していくのが大変でもありますし、そこにやりがいを感じます。

これまでで特に印象に残っている出来事(エピソード)はありますか？

採用2年目に担当した、ほ場整備事業です。トラクターが走行できない軟弱な田んぼを改善するため、工区を分けて試験施工をしたのですが、そのうちの1つの工区で、ご協力いただいた地元農家さんのトラクターが沈んでしまったのです。目の前で、ゆっくりと沈んでいくトラクターの光景はおそらく、定年まで忘れないと思います。次の日にバックホウでトラクターを引っ張り救出できたため、事なきを得ましたが、入庁して最初に体験した大きな出来事です。

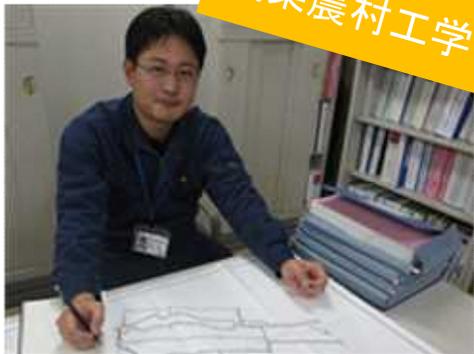
オフは何をしていますか？

マラソンや駅伝の大会に参加するため、簡単な練習メニューを組んで、ランニングなどの運動をしています。家にいるときは、ペットのリクガメにエサをあげたり、家の中を散歩させたりしてのんびりと過ごしています。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

業務や異動などを通じて、自分の知らない秋田の魅力を発見でき、様々な分野の人たちと繋がりを築け、地元秋田に貢献できる一石三鳥の仕事だと思います。たくさんの課題を抱えている秋田だからこそ、若い人たちの今までになかった新たな発想や意見が必要です！秋田の未来のため、ぜひ一緒に働いてみませんか。

農業農村工学



仙北地域振興局 農林部
農村整備課 生産基盤第一班
主任 袴田 直幹

経歴：採用11年目

- R 2年 仙北地域振興局 農林部
農村整備課 生産基盤第一班
- H29年 由利地域振興局 農林部
農村整備課 生産基盤第一班
- H26年 農林水産部 農地整備課
技術管理班
- H25年 被災地派遣
宮城県 仙台地方振興事務所
農業農村整備部
農地整備第五班
- H22年 入庁
仙北地域振興局 農林部
農村整備課 生産基盤第三班

ある日のスケジュール

- 8:15 出勤
- 8:30 朝礼、メールチェック
- 9:00 設計コンサルタントと打合せ
- 10:00 工事発注のための積算や、
図面のチェック
- 12:00 昼食
- 13:00 担当工事の完成検査受験の
ため現場へ
- 16:00 帰庁、書類の整理
- 17:15 退庁
- 18:00 子供とお風呂
- 19:00 家族で晩ご飯

わたしの職場はこんなところですよ

農村整備課は、ほ場整備や農業用施設(ため池、頭首工等)を整備する農業農村整備事業を行う部署で、事業採択に向けて調査・計画を担当する「ふる里づくり班」、事業採択後に設計や工事監督を行う「生産基盤班」、事業に伴う用地交渉や関係機関である土地改良区の指導等を行う「管理班」で構成されています。

わたしは今、こんな仕事をしています

「生産基盤第一班」に所属し、ほ場整備事業の設計や工事監督を担当しています。ほ場整備事業とは、農業の生産性の向上、効率化や、将来の農業生産を担う経営体を育成し、安定的な農業経営の確立を図るため、ほ場の大区画化や排水条件の整備などを行います。また、これらのハード対策に併せて、分散した農地の集団化や担い手への農地の利用集積を総合的に行います。班員は20代～30代の若手中心で、分からない事があれば気軽に相談しながら仕事を進めていける環境です。

もっと詳しく仕事内容を知りたい方はこちら↓

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/53992>

広報誌「あきたの農業農村整備2020」

秋田県のここが好き！

県外の友人が秋田に来たときに案内をするのですが、夏は大曲の花火大会や竿燈祭りなどを観ることができますし、冬はスキーやスノーボードを楽しんだ後、風情のある温泉に泊まったりと、四季折々に楽しめるスポットがあるので、いつ来てもらってもネタに困らないところが好きです。(新型コロナウイルス感染防止のため、現在は難しい状況です。早く収束することを願います。)

農業農村工学職のやりがい(楽しさ)はここ！

これまで、ほ場整備、ため池改修、ダム補修等の現場に携わってきました。工事が完成すると、最近ではドローンを使って写真を撮るのですが、上空からきれいに整備された現場を見ると、仕事をしたという達成感があります。

その後、ウェブ上の地図や航空写真にも反映されるので、地図に残る仕事をした人はやりがいを感じると思います。

これまでで特に印象に残っている出来事はありますか？

東日本大震災の災害復旧のため、宮城県へ1年間派遣されました。海岸沿いの農地やポンプ場などが津波により壊滅的な被害を受けていましたが、がれき拾いのボランティアの方々をはじめ、たくさんの方と協力しながら、営農再開に向けて復旧工事を進めました。自分にとっても、貴重な経験になりましたし、自分の仕事の重要さを感じました。

オフは何をしていますか？

子供が産まれたばかりなので、子供と過ごしている時間が多いです。私の癒しの時間となっています。平日も定時退庁に努め、積極的に育児に参加しています。また、育児休業を取得する男性職員もいますので子育てに関しても安心の職場だと思います。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

県内各地に異動があり、不安に思う方もいると思います。しかし、転勤の苦勞以上に、新しい土地での生活は変化があつて楽しいと思います。ぜひ、一緒に秋田県のために働きましょう。